

アピール

私たち宗教者は、ここ被爆の地ヒロシマに集い、憲法第九条を「輝かせたい」との願いをこめ、「第5回シンポジウムと平和巡礼」を開催しました。

憲法第九条は、過去の日本軍国主義によるアジア民衆と、ヒロシマ、ナガサキ20数万の被爆者をはじめとする日本国民の、多大な犠牲と反省の上に誕生したものであり、私たちが護り抜いてきた日本の生命そのものです。

原爆慰霊碑には、「安らかに眠ってください 過ちは繰り返させぬから」と刻まれています。私たちはこの「過ち」を、人間の深い心の底に潜む罪悪と貪欲に基づくものと理解し、宗教者としての使命を果たす決意を新たにしました。

私たちは、

- ・かつての侵略戦争に協力してきた宗教者の戦争責任の告白
- ・オバマ演説を生み出した「核のない世界」をめざす世界の人々の願いと行動
- ・慈悲と寛容の精神から、武力でなく対話による平和的紛争解決への貢献について

深い討議を重ねてきました。

私たちは、憲法第九条が“日本の宝”“世界の宝”として守り活かされることの大切さと、その実現に献身すべきことを誓いました。

私たちは心より呼びかけます。

「輝かせたい憲法第九条」の願いのもと、すべての宗教者は手をつなぎましょう。

「輝かせたい憲法第九条」の願いを、日本に、世界に広げましょう。

2009年9月26日

「宗教者九条の和」輝かせたい憲法第九条

「軍都・被爆都市・平和都市 広島から」

第5回シンポジウムと平和巡礼in広島 参加者一同

「宗教者九条の和」の願い

- ・憲法第九条を「輝かせたい」と願う人々とその意義を語り合い、思いを他に伝えたい。
- ・憲法第九条が世界の文明構築に普遍的な意義を明示し、指針を示していると解したい。
- ・世界が国際化を進める中で、互いの国の平和が道義的軌範の核となることを信じたい。
- ・私たちは宗教者として平和を願う人々と真に平和のあり方を考え、共に祈誓したい。
- ・宗教者は自らの所信に遵って、平和の世界を具現するために調和と抑制を説示したい。